

宮崎のさかなビジネス拡大支援事業 (地産地消・食育活動支援) のご紹介



食育と地産地消

「いただきます」からはじめよう！
みやざきの健全な食生活

県では、「宮崎の豊かな食で育む生涯健康な暮らし」を目標に掲げ、本県の食育と地産地消を一体的に推進する「宮崎県食育・地産地消推進計画（第3次）」を令和4年2月に策定しています。

本県の海面漁業・養殖業は、かつお・まぐろ漁業をはじめ、地域の特性を生かした沿岸漁業や養殖業が営まれ、令和元年の全国における位置は全国14位となっています。

また、内水面養殖業の生産量については全国で3位に位置しており、特にウナギ、コイの生産量は、それぞれ全国3位と上位を占めています。このように、本県は多種多様な水産物の供給県としての機能を発揮しています。

宮崎のさかなビジネス拡大協議会では、県産水産物の地産地消・食育活動にかかる助成金事業を実施しています。本年の取組をご紹介します。

●めいつの魚ブランド化推進協議会

めいつ美々鰯のブランド化を行って6年目となる。県内消費拡大と認知度向上を目指し、日南市内の食育ティーチャー*に登録している学校支援地域コーディネーターの矢野富子さんと連携し、北郷中学校1年生30名（5月26日）、南郷中学校1年生74名（6月3日）、酒谷小学校生徒3名、教員・保護者7名（6月23日）の地元小中学生に美々鰯や日南の魚を知って、捌いて、食べてもらうことにより、地元の漁業や魚に興味を持ってもらいました。今回の取組を受けて、これらの小中学校では、地元の漁業や美々鰯などの水産物を継続的に学んでいく授業カリキュラムを作成することになりました。

※「みやざきの食と農を考える県民会議」では、家庭や学校、地域等における食育・地産地消の推進を図るため、その牽引役となる食育ティーチャーを登録し、この方々を中心に地域のモデル的な食育・地産地消の実践・指導を行っています。

5月26日 北郷中学校



6月3日 南郷中学校



6月23日 酒谷小学校



●南郷漁協女性部

南郷漁協女性部では、地元中学生に農業遺産にも認定されたかつお一本釣り漁業の紹介とカツオの捌き方について学習する機会を提供し、地域産業や地元水産物への理解を深めてもらうことを目指し、食育ティーチャーの矢野富子さんやかつお船の元船頭の上牧英雄さんと連携し、7月8日、7月11日、7月12日にかけて南郷中学校1年生全員の72名の生徒に日南のカツオを知って、捌いて、食べてもらうことにより、地元の漁業や魚に興味を持ってもらいました。元船頭による漁師ならではの捌き方や食べ方の解説に生徒さん達は楽しく、一生懸命取り組んでいました。

7月8日、11日、12日 南郷中学校

